



複数地方公共団体等の共同・連携による  
脱炭素事業創出支援サービスのご紹介



備前グリーンエネルギー株式会社

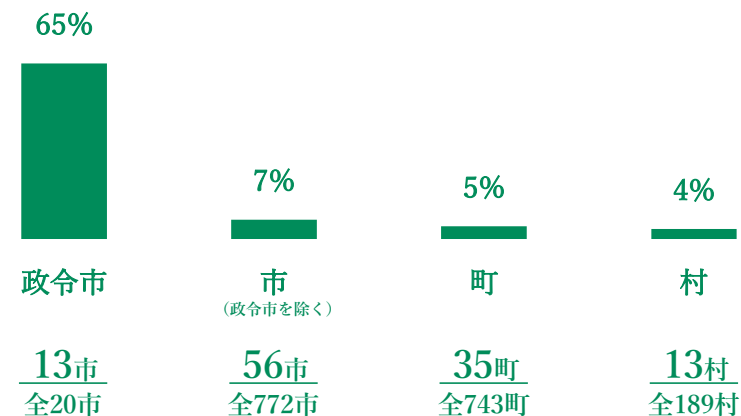
Green, and more.

## これからの脱炭素化には、複数自治体の広域連携が不可欠です。

脱炭素化の取り組みは政令市など大規模自治体で先行。

今後は、町村部における取り組みの拡大が期待されています。

▼ 脱炭素先行地域\*に取り組みが選定されている自治体の割合



(共同提案の場合も参加自治体を1自治体としてカウント)  
資料：環境省資料より作成 (令和7年5月9日時点)

※ 脱炭素先行地域とは、

2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてその他の温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域です。2025年時点で88地域が選定されています。

地域の脱炭素化に向けた多くの施策— 住民の行動変容の促進、事業者の脱炭素化ビジネスの創出・育成、再生可能エネルギーの導入、エネルギー地産地消、効率的な省エネ取組の共有・横展開など— を推進していくためには、多数の関係者を巻き込み、従来にない高度な連携・実行力が求められるようになってきています。一方で単一自治体では実効的な事業スケールでの展開が困難であることや、人員・専門的人材が不足していることなどにより実を結ばないケースが増えています。

この状況を克服するため、単一自治体による取り組みではなく、複数自治体で連携した取り組みが注目されてきています。

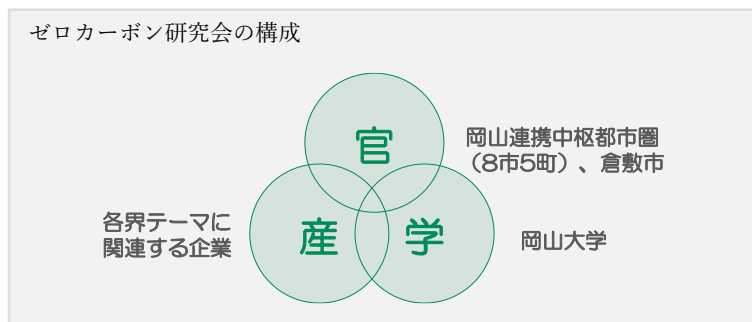
国も状況を認識し、先進性・モデル性を有する脱炭素先行地域として選定する際に、地域間連携を行い脱炭素先行地域だけにとどまらない横展開を期待できる取り組みに着目しています。

## ▶ 広域連携による脱炭素化の取り組み事例

事例 **ゼロカーボン研究会**  
岡山連携中枢都市圏

弊社にて  
支援

ゼロカーボン社会の実現に向け、産学官が現状の課題や解決策などについて意見交換する場として、令和3年度から開催しています。参加者は各回のテーマに応じ、希望する企業や大学、岡山連携中枢都市圏構成市町、倉敷市などとなっています。



開催状況	開催回数 (R3~6年度)	18回
話題提供	産 (民間企業、団体、組織)	39件
	官 (自治体・官庁)	6件
	大学	3件

事例 **ZEHお試し宿泊**  
岡山連携中枢都市圏

岡山連携中枢都市圏では家庭部門の脱簡素化に向けたZEHの普及を図るため、圏域内のハウスメーカー・工務店等と連携し、新築ZEH・改築ZEHの無料宿泊体験を実施しています。



# 広域的な視点で脱炭素事業創出と実行可能な連携モデルの構築を支援します。

## 脱炭素施策における自治体の悩み

連携のノウハウ・調整機能の不足

担当者の異動に伴うノウハウの損失や進捗の停滞

施策のスケールが小さく、地域全体へのインパクトが限定的

予算・人材・技術力で遅れをとる自治体では脱炭素事業の単独推進が困難



## 備前グリーンエネルギーの脱炭素事業創出支援

当社は、地域エネルギー事業の企画・実行における豊富な経験を活かし、**広域連携による脱炭素プロジェクトの創出支援業務**を提供しています。

脱炭素の実効性を高めるとともに、**自治体が単独では得られない脱炭素化に資する取組を創出**。さらに**国の支援獲得**を目指します。

	支援内容	広域連携推進に向けた弊社の強み
<p>現状把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の洗い出し</li> <li>温室効果ガス削減効果の算出</li> <li>予算規模の把握</li> <li>これまでの取組の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺自治体の方針やこれまでの取組、課題・資源をマッピングし、連携の可能性を可視化</li> <li>予算や時期、人材など、行政の負担に配慮した整理</li> </ul>
<p>企画・立案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に合わせた事業の提案</li> <li>意見、ニーズの抽出（ヒアリング、アンケート、会議開催など）</li> <li>同様取組の事例調査</li> <li>協力事業者の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域エリアの特性に合った事業モデルを複数提案、先進的事業とのマッチングも支援し、具体的に展開</li> <li>参加自治体や事業者へのヒアリング結果等をもとに制度設計</li> </ul>
<p>実行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書等の作成</li> <li>関係者の合意形成</li> <li>広報支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者との連携、住民の意向確認などの調整機能も含めた包括支援</li> <li>広報展開も伴走し、地元根付く運用ルールも整理</li> </ul>

## 専門知見と実務経験を活かし、実行可能な連携モデルを構築します。

### 自治体・学識経験者との連携実績

専門知識を有する学識経験者とのネットワークは、取り組みを適切かつ円滑に進めるカギとなり得ます。  
弊社ではこれまでイベント等で学識経験者にご講演をいただくなど、ネットワークを築いてきております。

#### ▼弊社支援イベントでご講演をいただいた例

- 東京大学大学院 工学系研究科 様  
「サーキュラーエコノミー（循環型経済）の推進による脱炭素化」  
令和5年度 岡山連携中枢都市圏ゼロカーボン研究会（第5回）にて
- 岡山大学 学術研究院 教育学域 様  
「CO<sub>2</sub>の吸収源および回収・固定化技術について」  
令和6年度 岡山連携中枢都市圏ゼロカーボン研究会（第3回）にて
- 鳥取大学 工学部 機械物理系学科 様  
「小風力発電について」  
令和4年度 燕市再生可能エネルギー活用セミナーにて

# 広域連携で脱炭素化を進めることを国も後押ししています

小規模な自治体については、共同して脱炭素化に取り組むことが期待されています

国は令和7年2月に閣議決定された「地球温暖化対策計画」において、すべての地方公共団体に脱炭素化を進める上での役割を定めつつ、小規模自治体の人員・人材不足や事業推進の効率を踏まえ、単独の自治体ではなく、共同して脱炭素化に取り組むことを推進しています。

令和7年2月18日閣議決定

「地球温暖化対策計画」第3章 目標達成のための対策・施策 より

## 2. 「地方公共団体」の基本的役割

### (1) 地域の自然的社会的条件に応じた施策の推進

地方公共団体は、単独で又は共同して、その地域の自然的社会的条件に応じた温室効果ガス排出量の削減等のための総合的かつ計画的な施策を推進する。・・・(略)・・・

### (2) 自らの事務及び事業に関する措置

・・・(略)・・・なお、全ての地方公共団体に実施責任があることを前提として、人員や専門能力の観点から限界がある小規模な市町村においては、人員・専門人材不足による困難性や再生可能エネルギー等の効率的な導入・利用の観点を踏まえ、例えば、広域的な地域エネルギー会社等の活用や共同調達等の手法により、都道府県や連携中枢都市等と共同・連携して実施することを推進する。

国からの財政的支援も期待できます

連携中枢都市圏を形成し、連携中枢都市圏ビジョンに脱炭素の取り組みが位置付けられている場合、取り組みにかかる経費の最大80%を特別交付税措置として交付を受けられる可能性があります。

### ▼ 連携中枢都市圏への交付税措置

求められる役割	連携中枢都市	連携市町村
ア 圏域全体の経済成長のけん引	普通交付税措置 圏域人口75万の場合、 約2億円	特別交付税措置 (一市町村あたり) 事業費2,250万円×0.8 =1,800万円(上限)
イ 高次の都市機能の集積・強化		
ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	特別交付税措置(財産) 事業費1億5,000万円×0.8 =1億2,000万円(上限)	

いばらき県中央地域連携中枢都市圏ビジョン懇談会資料(令和3年8月)を元に作成

📄 詳細 総務省自治行政局市町村課、事務連絡「連携中枢都市圏構想推進のための地方財政措置について」、平成28年4月1日(最終改正令和3年9月27日)



岡山にて全国の自治体様からのご相談をお待ちしております。

自治体との連携に興味がある民間事業者様へのご支援も承ります。

会社名 備前グリーンエネルギー株式会社

所在地 〒705-0022 岡山県備前市東片上39番6

事業内容 自治体の脱炭素施策立案、省エネ・再エネ導入支援、  
官民連携による地域脱炭素化事業の構築支援

電話番号 0869-63-3600

webサイト <https://www.bizen-greenenergy.co.jp/>

メールアドレス [info01@bizen-greenenergy.co.jp](mailto:info01@bizen-greenenergy.co.jp)

